

あこう屋(のたより)

3月 

発行責任者
堤 敏 博

【校長室より】

卒業式式辞から



3月1日に行われた卒業式でお話いたしました内容の一部を転載することで、私の思いを保護者の皆様にお伝えしたいと思います。

ここで、これから新たなステージに上る皆さんに、私から二つの はなむけ 饞 の言葉を贈ります。

一つ目は、「昨日の自分を超えていくべく自分を磨き続ける」ということです。大リーグを昨年引退したイチロー選手は、自分の生き様について「はかりはあくまでも自分の中にある。それをちょっと超えていく。その積み重ねでしか、自分を超えていけない。」と言っています。「他の人には出来ないことが出来る」という資質は、確かにその人にとっては財産であり、人生を幸福なものにする手助けになると思います。しかし、人の価値を「社会の中で立派な仕事をして、褒められる人ほど偉い」という「他人との比較」でのみ評価するなら、優越感と劣等感の入り交じった気持ちが起こり、本当の心の安らぎは得られないのではないのでしょうか。自分を何かと比べるのならば、外部の誰かではなく、「昨日の自分」でなければならないと思います。毎日一歩ずつ歩むうち、「昨日の自分より、今日の自分の方が良くなっている」という思いが積み重なっていくとき、自分の基準による本当の「人の価値」が見えてくるのです。

二つ目は「ふるさと五島を想ってください」ということです。長崎県出身の歌手さだまさしさんが、「案山子」という歌を歌っていらっしゃいます。我が子を遠くに出した親の気持ちを綴った歌です。その歌の冒頭はこんな歌詞です。「元気であるか 街には慣れたか 友達出来たか 寂しくないか お金はあるか 今度いつ帰る」これが、我が子を遠くに出した親の心です。みなさん、どうか忘れないでください。いつも、君たちのことを想い、案じ、帰りを待ち侘びている家族や親戚、地域の方々がこの五島の地にいることを。このふるさと五島が持つ豊かな自然や、特色ある歴史を誇りに思ってください。五島高校での様々な体験は、近い将来必ず活かされると信じています。そして、将来、皆さんを はぐく 育ててくれた「五島」に戻ってきてください。ふるさとである五島の発展のために、それぞれの立場での活躍を期待しています。

これから皆さんが生きていく時代は、激動の時代になると言われています。それは、明治維新以来の変革期とも言われていますが、その明治維新は、約七百年間も続いた武家政権を終わらせ、近代化の いしずえ 礎 を築きました。そして、それを成し得たのは、地方出身の名もなき若者たちでした。彼らを動かしたものは何でしょうか。それは、「私はこのような生き方をしたい、このような社会を創りたい」という思いであり、志です。これからの数十年は、日本にとっても、世界にとっても、激動の数十年になることでしょう。そして、この青い地球に誕生した人類の行く末は、皆さんの手にかかっていると断言して過言ではないと思います。今まで、皆さんを育ててくれたこの五島に、この日本に、そして、この地球に、今度は皆さんが恩返しをする番です。自分に何が出来るか、一人ひとりに考えて欲しいと思います。

卒業式における校長式辞の一部を紹介しました。お子様との話題にしていただければ幸いです。

「卒業式」

3学年主任 渡辺洋平

今年の卒業式は、卒業生にとって、いつまでも忘れられない感動的なものでした。日曜実施だったため、多くの保護者の皆様にも参加していただきました。一人ひとりが壇上に上がっての卒業証書授与、校長先生の式辞、生徒会長



野口太瑠君の堂々とした送辞、それを受けて泉理菜さんの答辞へと、厳粛な雰囲気の中式典は進みました。さらに卒業生の背後から大きく響く歌声、卒業生が退場する際の温かい拍手、その全てが卒業式を鮮やかに彩ってくれました。卒業生は、みなさんに「ありがとう」の気持ちを伝えたかったのではないのでしょうか。卒業式に関わってくださったすべての方々に、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



特別表彰式

2月28日（金）に、卒業式に先立ち特別表彰式を実施する予定でしたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で全体での表彰は中止となり、各クラスでの実施となりました。これは高校3年間で学習や部活動などで顕著な活躍をした生徒を表彰するものです。各種表彰の内容と表彰者は下記の通りです。

- | | |
|---------------------|------------|
| ○長崎県教育委員会表彰 | 3年1組 中村竜也 |
| ○長崎県高等学校体育連盟表彰 | 3年6組 小島一斗 |
| ○専門高校等御下賜金記念優良卒業生表彰 | 3年7組 井上玲菜 |
| ○全国看護高等学校長協会生徒表彰 | 3年7組 出口美緒 |
| ○長崎県高等学校文化連盟表彰 | 3年4組 佐々野優香 |
| ○高校生新聞社賞 | 3年1組 宮崎幸汰 |
| ○体育優秀生徒表彰 | 3年6組 平野鈴葉 |
| ○特別活動功労賞 | |

陸	上	小島一斗	平野鈴葉	吟詠剣詩舞	津田太陽
百人一首かるた		金子聖奈	平山凌子	写真	中村信太郎
新聞		西極ほのか	宿輪珠莉	中村多希	山本美結 吉田楓 松崎こなみ



寮生卒業夕食会



2月28日に寮生卒業夕食会を開催しました。今年度は男子5名、女子5名が3年間の寮生活を終え、巣立っていきました。夕食会は、例年と違い簡素化された形でしたが、卒業生は3年間の思いを寮母さんや在校生に伝えると共に、今後の決意を語ってくれました。

卒業後は、寮生活での経験を生かし感謝の気持ちを忘れず、それぞれの夢に向かって邁進してほしいです。

ありがとう感謝！

功成り其の名遂げて後、地図に五島を指して・・・（五島高校応援団）

※令和元年度卒業生の160名が五島高校石城会に入会しました！

2月28日（金）に令和元年度卒業生の同窓会入会式を実施しました。最初に吉野榮一全国石城会会長（五高10回卒）から入会に際してのあいさつがあり、島を離れ新たな生活を始める後輩たちへ、サポーター募金（遠征費として各部3万円の補助金）の活動や母校と故郷（五島）の発展のため協力してほしいというお願いがありました。卒業生を代表して山内英洋君が吉野会長を前に、「母校と郷土の発展に尽力していきます」と力強く入会のことばを述べられました。

会員となった卒業生の皆様には、進学・就職先で最寄りの支部（東京6月、長崎7月、大阪2月）や帰省した際に五島での懇親会（8月中旬に毎年開催）へ積極的に出席し、同窓会の目的である会員の相互融和を図ってほしいと切に願っています。



「本物を目指す」 1 学年主任 原口正志

「本物を知る」をテーマに第1学年で様々な方々に支えられて基礎基本を徹底した君たちは、確かに逞しくなり成長することができました。普通科普通コースの生徒は学習活動に、スポーツコースの生徒は自分の専門競技に、そして衛生看護科は医療の専門知識・技術にと様々な活動から「本物を知り」、できなかったことができるようになってきました。この3つの科とコースは五島高校の教育における最上のリソースです。同じ科とコースで協働するのはもちろん、その枠を超えてその異質さを理解し合い、尊敬し合うことができたとき、君たちの成長は加速します。それぞれの厳しくも充実した環境を楽しんでください。そして学習・行事・部活動などのあらゆる活動で、人が見ている見えていないに関係なく努力できる人間に成長してください。1年生の手本、3年生を支える中堅学年、その努力を私たちも支えますので、「本物を目指し」て、がんばってください。

「次年度に向けて」 2学年主任 本多優子

古代中国・殷を樹立した湯王は、毎朝顔を洗うために「苟日新、日日新、又日新（1日を新たな気持ちで、日々を新たな気持ちで、また1日を新たな気持ちで）」という言葉に刻み、自らを律していたといわれます。終わった事はもう戻りませんが、過去の反省を生かし未来が変わるよう、今の瞬間を大切に過ごすことはできます。1日も、1年も、どの場面でもある「はじまり」を大切にしていってください。臨時休校で家にいる時間が長くなるからこそ、まずは朝の時間から。もうしばらくすると、君たちが大きく成長する1年がスタートします。



3年生進路結果報告

進路指導部

- ① 国公立大学合格者数（推薦、AO、一般前期日程）66名
- ② 難関大合格者数2名（九州大学2名）
- ③ スポーツコース：鹿屋体育大学、西南学院大学、長崎国際大学、日本文理大学、広島国際大学、朝日大学等、各種学校合格
- ④ 衛生看護科：准看護師資格試験全員合格

「向き合う」というスローガンのもと、それぞれの進路実現に向けて頑張りました。早く進路が決定した生徒も、まだ決まっていなかったクラスメイトのために、率先して学習に取り組んでいました。他者を思いやるやさしい生徒が多く、我々が助けてもらう場面も多かった学年でした。また、学習に、部活動に、行事にいろいろな面で活躍してくれました。卒業生の更なる活躍に期待したいと思います。

合格発表

高校入試が3月10日・11日に行われ、18日に合格発表を行いました。18日は9時30分の合格発表前から受検者のみなさんが合格発表場所周辺に集まっていました。発表時には歓喜の音が響き渡りました。普通科普通コース116名、普通科スポーツコース21名、衛生看護科24名のみなさんが合格しました。合格おめでとうございます。来月、みなさんが入学してくることを心より待っています。

離退任される先生方 お世話になりました 新任地での活躍をお祈りします

名前	教科等	異動先
堤 敏博	校長	佐世保南高校
高木 七恵	事務長	西陵高校
淵上 透	英語	佐世保西高校
田中 夢美	看護	島原特別支援学校
樫本 英人	数学	長崎東高校
藤松謙之介	地歴	佐世保南高校
塚副祐貴子	国語	猶興館高校
島崎 英範	英語	長崎西高校

名前	教科等	異動先
金子真名美	音楽	波佐見高校
平野 朝子	看護	鹿町工業高校
藤林美由紀	事務	佐世保東翔高校
小川 美優	英語	長崎西高校
中島 果林	地歴	長崎大学事務
宮崎美奈子	看護	長崎市内の小学校
金城 武	看護	退職
林田真那美	保体	退職